所報「はちけん」

八王子市教育委員会
学校教育部　教育指導課
教育研究所　　10月号
令和8年（2026年）10月30日

「はちおうじっ子の未来をつくる探究的な学び」について

次期学習指導要領の改訂に向けた「次期学習指導要領等に向けた審議まとめ」（文部科学省、令和８年１０月５日）の中で、<u>各教科等における質の高い探究的な学び</u>の重要性が示されました。このことを踏まえ、本市では、「はちおうじっ子の未来をつくる探究的な学び」を策定し、今後推進していきます。（別紙１参照）

本市が推進する「探究的な学び」とは、児童・生徒が自ら問いをもち、学び方を決定し、情報を収集するとともに、整理・分析しながら考えを深め、振り返りを通して次の学びへとつなげるという学習過程（サイクル）を重視しています。この「探究的な学びのサイクル」を繰り返すことで、これからの予測困難な時代において、未知の課題に対応し、自らの人生を切り拓く力の育成をめざします。

≪探究的な学びのサイクル≫

各教科等の授業において、単元全体やその一部で、次のサイクルを意識した学習を展開する



学習内容や学習方法、今後の学習改善への視点等を多面的に振り返り、自らの成果や課題を明確にするとともに、仲間のよい学びにも着目しながら、次の探究や新たな問いの設定につなげます。

自分の興味・関心や問題意識を基に問いを設定します。また、「何を・どのように・誰と学ぶか」という視点から学習計画を立て、自分に合った学び方を実現できるようにします。

問いの解決に向け、多様な方法で必要な情報を収集・蓄積し、必要に応じて地域人材や専門家とも関わりながら学習をすすめます。

収集した情報を、必要性や信頼性を吟味して取捨選択します。また、見方・考え方を働かせながら、情報の質や量に応じた方法で整理・分析します。

探究した成果を目的や相手に応じた方法で分かりやすく表現するとともに、学びを社会や自己の生き方と結び付け、これからの行動や在り方について考えます。

このような「探究的な学びのサイクル」の中では、<u>「見方・考え方を働かせる学び」「実社会と接続した学び」「新たな価値を創造する学び」</u>の視点に基づく学習を展開することで、学びの質が高まります。（別紙１右下参照）

探究的な学びにおいては、児童・生徒が自ら選択・決定しながら学習をすすめていく時間が多くなります。しかし、児童・生徒に学びを委ねることは放任することではありません。<u>教師は一人ひとりの学習状況等を把握し、「伴走者」として個別の支援を丁寧に行う</u>ことが重要です。

「別紙２」には、探究的な学びのサイクルに基づいた授業改善のためのチェックシート（指導の留意点等）を記載しておりますので、上記内容とあわせて、各教科等における探究的な学びの充実に向けた授業改善のために御活用ください。



教育研究所「はちけん」ホームページで、研究や研修等の情報を更新しています。
ぜひ、御一読ください。

二次元コード